

平成 24 年 1 月 25 日

（予告） 作品展「マンガ@紫雲荘～トキワ荘から紫雲荘へ～」

2月1日から29日に、区民センター（豊島区東池袋1-20-10）2階、ふれあい交流サロンにおいて、作品展「マンガ@紫雲荘～トキワ荘から紫雲荘へ～」が開催される。

紫雲荘は、トキワ荘だけでは手狭になった赤塚不二夫が、仕事場兼住居として借りた隣のアパート。今も現存するこのアパートを活用してマンガ家を目指す若者を街ぐるみで応援し、家賃の補助などを行っているのが「紫雲荘活用プロジェクト」だ。昨年6月に入居者を募集し、現在、プロのマンガ家の桐木憲一さん、マンガ家を目指している福田健太郎さんと枝作さん（ペンネーム）の3人が創作活動を続けている。

また、「紫雲荘活用プロジェクト」では、トキワ荘にゆかりのあるマンガ関係者を招いて、赤塚不二夫が仕事をした部屋で、5回のワークショップを開催し、毎回、大好評であった。

今回の作品展では、3人の作品のほかに、ワークショップなどに招いた方の寄せ書きなども展示予定で、現在その準備に取り組んでいる。

紫雲荘に入居し半年が過ぎ、福田さんは「マンガを描く時間が確保できるようになり、絵も上達してきている。早く雑誌に掲載される作品につなげたい」、枝作さんは「定期的に投稿を続けている。ちゃんとした成果を早く出したい」とこれまでの感想を語った。

紫雲荘では先生役となる桐木さんは、紫雲荘に入居して最初の単行本となる『東京シャッターガール』が1月18日に発売され、既にツイッター等インターネットで大反響を呼んでいる。「実は、この作品の取材中に紫雲荘のことを知り、入居することになった。紫雲荘の入居中にこの作品が出版できてよかった。『東京シャッターガール』は、自分にとって新たな作風で、街歩きの魅力を伝えるもの。豊島区内をテーマにしたものも多く、今回はそれを中心に展示したい」と語った。

今回の作品展は、紫雲荘での活動の半年の成果でもあり、マンガにかける3人の青春の展示会でもある。ぜひ足を運んでほしい。



左から、枝作さん、福田さん、桐木さん



展示作品を打ち合わせる3人

開催概要

日時 平成 24 年 2 月 1 日（水曜日）～29 日（水曜日）午前 9 時～午後 8 時

場所 区民センター（豊島区東池袋 1-20-10）2 階、ふれあい交流サロン

主催 トキワ荘通り協働プロジェクト [HP](http://tokiwaso-street.jp/project/) <http://tokiwaso-street.jp/project/>

[ブログ](http://blog.goo.ne.jp/tokiwasou-street) <http://blog.goo.ne.jp/tokiwasou-street>

問合せ：文化観光課